

視聴覚教育

NO. 502

発行日

R8. 1. 14

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？情報 I

データマイニング

大量のデータから有用な規則性や知識を抽出する技術。予測や分類、傾向分析などを行うことで、ネット通販のおすすめ商品表示や、天気予報の精度向上などの意思決定や問題解決に活用される。

技術・家庭科と情報

額田中学校 校長 夏目弘之

子供が書き初めに取り組んでいる。教員の仕事始めは一月五日だった。「書き初め」も「仕事始め」も一年で初めての活動を表すが、「初」と「始」のどちらも使っている。語感に関連しているのだろうか。では、こうしてキーボードを打つのはどうだろう。「打ち始め」はゴルフか。「打ち初め」だと日本刀の鍛造だが、言葉を鍛えていると捉えてこちらを採用しよう。ものづくりに寄与する技術分野としても、推したい言葉遣いだ。

文部科学省の教育課程企画特別部会における論点整理で、情報活用能力の抜本的向上が示された。顕在化している課題の一つに、指導内容の不足さが挙げられている。特に、小学校や中学校では、コンピュータやネットワークの仕組が扱われていないことが問題となっているようだ。パソコンを当たり前のように使っている、中身や仕組は分かりづらい。これをシステムの「ブラックボックス化」という。私が教員になったころ、「情報」の分野は選択制であった。さらに、男子は技術分野、女子は家庭分野と分けて履修していたの

だから、隔世の感が否めない。電気を得意とする技術の教員であっても、昨今使われている ICT の仕組はブラックボックスといっても過言ではないだろう。仕組が理解できれば、修理したり適切に機器を選んだりすることにつながる。子供が未来で新しい仕事を生み出すときも、機器を適切に利用できる点で、仕組を学ぶことは有益だ。

今のところ、小学校における総合的な学習の時間に「情報の領域」を一定時間確保するように話が進んでいるようだ。先進的に取り組んでいる竜谷小学校の研究は、岡崎の情報教育の道を切り拓いているといえる。中学校でも、技術分野が家庭分野と分離し、「情報・技術科」（仮称）となるような話が進んでいる。「情報」という言葉が技術分野の領域として初めて学習指導要領に登場したのは平成元年。平成十年に必修になった。しかし、材料やエネルギー、生物育成と同じ「ものづくり」の学びであることを忘れないようにしたい。

私が今年初めてキーボードに触れたのは年賀状返信のためであった。校長通信の方がよかっただろうか。いや、ものをつくり、人をつなぐ技術の利用。悪くない「打ち初め」と捉えよう。

● 視聴覚教育あれこれ II 自作視聴覚教材の活用を

今年度も「おかざき映像教材研究会」による教材制作が進められています。今年度は、社会科教材を一本、総合的な学習の教材を一本の、計二本を制作しています。

これらの教材は、どれも岡崎市とその近隣の人や企業の取組を取り上げています。現地の様子を見たり携わる人たちのインタビューを聞いたりすることで、教科書の学習内容をより身近に感じられるよう工夫されています。

これまでに制作された作品は、教室 PC のデスクトップにあるショートカットからいつでも視聴できるようにしました。積極的な御活用をお願いします。

作品の題名

一班 震災 君ができること
二班 ぶどう農家の新たな挑戦



1 班 震災 小学生の君ができること



2 班 ぶどう農家の新たな挑戦



II 実践報告 II

タブレット端末を使って音読に挑戦

上地小学校 鈴木 俊宏

物語や説明文、詩、俳句、和歌。教科書に出てくる文章を読むことは、国語の力を付けるのに欠かせない活動の一つである。しかし、音読に対して消極的な児童も多い。もつと主体的に音読に取り組めるよう Teams の機能を活用することにした。

六年生国語科「さなぎたちの教室」で、Teams のラーニングアクセラレータ機能を活用した。教師が配付した音読課題を、児童が音読、録音して提出すると、その音読の正確性や音読の速度などを AI が判定する。その判定を参考に、児童は、自分の音読のどこがよくて、どこが苦手なのかを分析することができる。この音読を続けていくうちに、児童たちは、読み間違えている部分や発音などのポイントを自ら見つけ、児童同士で聞き合って確認をするなど、主体性が向上した。その結果児童の音読はどんどん上達し、学習の最後に行った音読発表会では表現力豊かな音読となった。音読に消極的だった児童は「先生、次は英語の音読もしてみたいです」と言った。音読に対して積極的になったことが分かった。



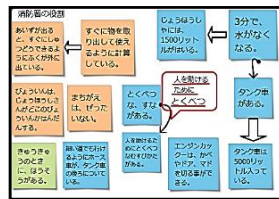
Teams のラーニングアクセラレータ機能を活用することで、子供は自分の音読を分析して改善した。フィードバックが早かったこと、ゲーム感覚で改善できたことが主体性を生んだと考えられる。AI を先生役にするのは、更なる情報活用能力の向上につながると、その可能性を感じている。

II レッツ・トライ！ ICT II

今回紹介する ICT スクールタクトの新機能「付箋」

小学三年生の社会科で「火事からくらしを守る」の授業を行った。社会科では、社会的事象を比較、分類したり、総合したりする力が必要となる。そこでスクールタクトの付箋機能を活用した。

この機能では、八色の付箋を選ぶことができ、自由に動かすことができる。あとから色を変えることも可能だ。児童は、消防署で見つけたことを付箋に書き、その付箋を動かしたり、色を変えたりしてグループ化することで「人」と「もの」に分類できることに気付いた。ところが、消防署で流れる、救急を伝える消防指令センターからの放送が「人」「もの」どちらに分類されるか分からないというつぶやきがあった。そこで、この疑問を取り上げ、チームで話し合うことにした。すると、「人」や「もの」との共通点と差異点を見つけ、人と人、人とのものを関わらせることでできた「仕組み」として新たに分類できた。



付箋の色を自由に変えられたことで「見つけたこと」を比較や分類、総合がしやすくなったようだ。児童は、「自分やみんなの分類シートは色ごとに人やものに分けられているので、分かりやすく同じところや違うところを見つけやすかった。そのおかげで消防署には人を守る仕組みがあると分かった」と振り返り述べた。社会科が求める力を身に付けることができたといえる。

(六ツ美中部小学校 江本 望)

ワイフニフリーだよ

●教材・機材貸出の御案内

視聴覚ライブラリーの教材や機材を利用する時は、曜日や時間に関係なく申し込むことができます。ネット予約をお勧めします。OKリンクを開いて「教育施設HP」を経て視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください。

詳細は各校に配付されている「視聴覚教材目録」や学習情報部HPに掲載されています。視聴覚ライブラリー教材検索システムを参照してください。また、IDやパスワードが分からない場合は、視聴覚ライブラリーまで直接お問い合わせください。貸出期間は貸出日を含めて七日以内（七日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで）、貸出日の三か月前から予約可能です。文書集配の運用が変更となったため、基本的には来所にて、貸出・返却対応となります。御事情により文書集配でのやり取りを希望する場合は、御連絡ください。

【機材予約はお早めに】

毎年、二月末から三月中旬にかけて学校行事関係での申込が多くなります。一般の利用も多い時期ですので、重なって混み合います。プロジェクトやビデオカメラ等の貸出機材の他に、視聴覚ライブラリー内にあるデュープリーターの利用も混雑します。御利用される場合は、お早めに御予約ください。

連絡先 電話二三一六七八九

